

波・メール通信句会

第81回 令和八年一月

富山ゆたか

作者一句（互選・得点順）

乾鰯のあぎとに残る気概かな
病院のリハビリ室に初日さす
碧落到天馬の駆くる年始状

山田せつ子
菅谷 睦
飯野 深草

鹿児島のおふたりの今年初めての句会。「帆を上げし」にめでたさと、さあ頑張ります！というの気持ち
が伝わってくる。今年もよろしくお願いいたします。
（山田せつ子）

主宰特選三句

今日だけは特別な鳥初雀 岡坂ゆう子
毎朝、庭に来る雀たち。見慣れた雀ではある
が、可愛いもの。新年初の雀と見れば、特別な語
がつくのも尤もな事である。

有明の月強張りて寒の入り 中出 隆義
見方によつてはやゝ当り前とも言えるが、中七
の措辞「強張りて」が寒の入りによく呼応し
た。

裸木や本音で生きる潔さ 岡坂ゆう子
人前ではつくろうこともある人間。全ての葉を
落とし切った潔さに敬意を表された作者がみえて
くる。

主宰入選五句

鶏鳴の空の明るく初詣 大平 政弘
とりどりの鳥で華やぐ枯大樹 風野 であ
寄り添ふが一の癒しや虎落笛 鎌田紀三男
ツリーハウスは空のラウンジ冬うらら

帆を上げし鹿児島二人初句会 関美 晴
風野 であ

会員選評より

ツリーハウスは空のラウンジ冬うらら 風野 であ
木の上に作られたホテルですね。こんな体験を
したい一句です。
（霧野萬地郎）

帆を上げし鹿児島二人初句会 関美 晴

乾鰯のあぎとに残る気概かな 山田せつ子
教科書にある明治の洋画家高橋某の絵画を想起
した。力強さに打たれる。
（稲吉豊）

病院のリハビリ室に初日さす 菅谷 睦
元旦の静まり返った病院は何となく寂しく感じ
ますが、リハビリ室にさす初日からは、明るい今年
の希望が伝わってきて、心に響きました。
（田中順子）

碧落到天馬の駆くる年始状 飯野 深草
「天馬空を行く」の諺のように、天馬が大空を自
在に駆けている年賀状が届いたのだ。この天馬に
乗っている詩神のミューズを想像。（富山ゆたか）

面取りて碧き双眼里神楽 伊藤真理子
里神楽とインターナショナルのコラボが絶妙で
あり、なんとなくまつたりとした光景が目につか
ぶ。
（粹狂子）

寒雷か歪む平和の地響きか 帆川 透
自然（寒雷）が人為（平和を歪ませる人間）を
諷めているとも読みとれます。
（飯野深草）